

古代日本には文字がなかった。中国から書物が輸入するとともに「漢字」という文字が日本に入ってきた。日本語を表現するために漢文を用いたのである。しかし、漢文と日本語では語順が違うため、無理が生じてくる。また、難しいため勉強しないと日本語を書き表せない。そのため漢字の音を使つて日本語を表現しようとしたのである。本語とも漢字の形はその意味を表している。日本語を表現するためににはその意味ではなくて、その音だけが必要なのである。よつて、漢字の正確な形は必要なくなり、だんだんと書きやすいものに変化した。漢字をくずしたものが「平仮名」であり漢字の一部をとつたのが「片仮名」である。

漢字で五十音表ができていたので、ひらがなを当てはめてみよう。（丁寧に書くこと。乱雑だったから、再提出になります。）

（「辺」は異説がある）

[illegible]

copyright c 2000-2006 katagiri fumihiro

「ン」は字源不明。

[illegible][illegible]

遠

何も見ないでいろは歌を平仮名で書いてみましょう。右側にヒントとして、ところどころにその平仮名のもとになった漢字があります。(濁点「・」は必要ありません。一マス空くところがあります。)

[illegible]